

■ 2024年度 事業計画 社会福祉法人なないろ（法人本部）

はじめに	<p>昨年は、コロナ期間を経て通常の生活に移行してまいりました。しかしながら、新しい年の幕開けと共に、能登半島地震があり、2024年も気を引き締めて行う重要性を感じる年頭でした。被災地の方々には心よりお悔やみ申し上げ、1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。【會田】</p>
法人の理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が主人公</li> <li>・働くことを大切にする</li> <li>・地域に根差した活動を進める</li> </ul>
法人の基本方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) (利用者) 本人の思いと笑顔を大切にし、みんなから尊敬され、自分の人生の主人公となるよう支えていきます。</li> <li>2) ライフステージに応じて、障がいの種類・重さにかかわらず、自立した自分らしい生活を営めるよう支えます。</li> <li>3) 自らが、自己肯定感を持てる社会、環境、地域、制度を作るためにも、一人ひとりを大切にした支援の実践に心がけます。</li> <li>4) 働くことを通じて、自己の作り出した製品への自信と誇りを持ち、人から喜ばれる製品の販売を通じて、人や地域とのつながりを広げて行きます。</li> <li>5) 障がいがあっても地域であたりまえの暮らしができる地域づくりを目指します。</li> <li>6) 一人の生活者として、自分の生活を自分の意思で選択・決定し、築けるような環境の創出と調整を行います。</li> </ol>
事業運営	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 第2種社会福祉事業 生活介護（定員20名）トライの運営 （定員20名）長沢バーカーの運営</li> <li>2) 第2種社会福祉事業 共同生活援助（定員6名）ほっと・ホット （定員4名）にじいろのパレット （定員4名）にじいろの奏の運営</li> <li>3) 第2種社会福祉事業 居宅介護 ほっと・ピアの運営</li> <li>4) 第2種社会福祉事業 重度訪問介護 ほっと・ピアの運営</li> <li>5) 第2種社会福祉事業 移動支援事業 ほっと・ピアの運営</li> <li>6) 第2種社会福祉事業 相談支援事業 なないろ相談支援事業所 （計画相談、一般相談）（児童相談）（認定調査）の運営</li> <li>7) 公益事業 福祉有償運送事業 ほっと・ピアの運営</li> </ol>
本年度の展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 社会福祉法人なないろの今後10年先を見据えた、中・長期計画の作成。（継続）</li> </ol>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中・長期計画を執行部会の中で論議し、たたき台を作成する。</li> <li>・利用者や地域に生活している障害のある方のニーズ把握に努める。</li> </ul> <p>2) 法人内組織体制を、世代交代とともに支援や組織の見直しを図っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや SNS の活用を進め、新しい人材の確保を最重要課題とする。柔軟な一人ひとりのニーズに合った働き方を模索する。</li> </ul> <p>3) 利用者さん本人が、生活・活動の主人公になっているか等を改めて支援を問い直していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援の在り方についての虐待防止委員会での論議を活動に活かす。(知識・スキルの向上など質の高い支援)</li> <li>・従来の活動について、利用者さんに改めて聞き取りを実施。現実的なニーズを再確認し、実施していく。</li> </ul> <p>4) 職員の次代育成を図る。(育成を踏まえた法人内異動と責任の分担)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤職員の初任者研修修了者を増やす。</li> <li>・その他関係する資格の取得、研修への参加促進。</li> </ul> <p>5) グループホームの 24 時間、365 日開所を目指し、1 か月の変形労働制を継続する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族や本人のニーズを把握し、インフルエンザやコロナ等の流行性疾患等の対処の仕方や、受診体制、グループホームでの静養の方法の検討を進めていきます。</li> </ul> <p>6) 災害時に対する災害時物品、食料等の確保・ローテーションの準備・充実。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常食の確認、点検（賞味期限等）や非常用備品の確認、点検（使い方、使用可能か等）の定期的な実施。</li> <li>・BCP の作成、点検（法人及び、各部署間の連携の確認）</li> <li>・現実的な災害シュミレーション、訓練による備品の充足化。</li> <li>・連絡網、体制の確認。ご家庭の避難場所、非常時の連絡方法など。各利用者の個別避難計画の検討。</li> </ul>
--	---

<p>各事業の推進</p>	<p>1) 日中活動部門（生活介護）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① Haccp の考え方に沿った食品衛生管理・表示の徹底。 （業務監査時での継続確認）</li> <li>② 本人にわかりやすい「個別支援計画」の作成。 （本人のニーズ把握と合意に基づく個別支援計画）</li> </ul> <p>トライ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HACCP 点検項目をチェックシートによる確認しているが、実際の製品作成に活かされているかの再考察。</li> <li>・作業手順書の作成。</li> <li>・トライで被災した場合の個別避難計画作成。</li> <li>・トライⅠ・Ⅱ職員、利用者の交流など、同じ事業所としての共同活動の充足。移転も踏まえた事業行け入れ体制の拡大を計画。</li> </ul> </div> <p>長沢ベーカリー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンの販売を通し、地域イベントや商店会との交流、協力の機会を作る。</li> <li>・店頭販売や外部販売等を通して、それぞれがやりがいや達成感を持てる作業の提供。</li> <li>・面談の機会を通して、生活の課題を少しでも解決できるよう取り組む。</li> </ul> <p>2) 生活（くらし）部門（グループホーム）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① グループホーム土日開所の拡大。</li> <li>② グループホーム旅行や合同行事の検討と実施。</li> <li>③ グループホーム職員配置状況の見直し。（役割分担）</li> <li>④ 利用者の傷病による残留対応や受診等の体制整備。</li> <li>⑤ 身体面での機能・筋力の現状維持を目指した、機能訓練等を行う訪問マッサージ実施・継続。</li> </ul> <p>ほっと・ホット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者さん、ご家族の状況も踏まえて、24 時間、365 日開所を目指し、職員体制の充実を図る。</li> <li>・年を重ねて行かれる利用者さんの状況を素早く把握し、変わらぬ日常生活を送れるように支援する。</li> </ul> <p>にじいろのパレット、奏</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告・連絡・相談の徹底を図り、おひとりお一人の変化をキャッチして、穏やかな生活を支援する。</li> </ul>
---------------	--

	<p>3) 地域支援部門（居宅介護・移動支援・福祉有償運送）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 実施詳細内規・規約の整理に努める。</li> <li>② 緊急連絡体制（緊急携帯等）（ライン連絡網）の確認と整備。</li> <li>③ 車輛走行時の安全運転に心がける。（ドライブレコーダー等を通した運転状況の確認や安全運転講習会やアルコールチェックの実施）</li> </ul> <p>ホット・ピア（移動支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘルパー不足が深刻化。（現状維持も厳しい状態）</li> <li>・サービス内容の定期的なチェックと必要に応じての改善・変更。</li> <li>・利用者主体の支援の提供。</li> <li>・BCPの作成と点検。</li> </ul> <p>ほっと・ピア（居宅介護）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズを大切にしたい個別支援計画の作成やその支援の提供。</li> <li>・利用者主体の支援の提供。</li> <li>・BCPの作成と点検。</li> </ul> <p>福祉有償運送</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライバー研修の実施。（年1回）</li> <li>・毎回乗車の車両点検や月に1回のエンジンルーム点検等の確実な実施。</li> <li>・アルコールチェッカーを使用した、毎回の乗車前チェックの実施。</li> <li>・安全運転の実施。（必要に応じたドライブレコーダーでのチェック）</li> </ul> <p>4) 相談支援部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市主導の複数事業所による共同モデルに参画。</li> <li>② 各対象利用者の定期的な担当者会議の開催。</li> <li>③ 相談報酬請求加算項目の検討と請求の実施。</li> <li>④ 新規相談支援専門員の養成。</li> <li>・地域移行・地域定着事業の閉鎖。</li> <li>・相談事業担当者の新規育成もしくは事業の段階的な縮小。</li> </ul>
その他	<p>1) 事業運営透明性の担保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 年度末事業報告冊子の作成、ホームページの積極的な利用とデータ更新。</li> </ul> <p>2) 利用者、家族、職員等の合同企画の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 納涼祭や新年会の実施。（移動支援・相談対象者にも拡大）</li> </ul> <p>3) 法人の継続・継承を目的とし、世代交代を意識した方策・異動を推</p>

	<p>進する。</p> <p>4)町内会行事への参加やバザー等を通じて、地域と連携を取りながら、地域のニーズにも応じられる体制を築いていく。</p> <p>5)利用者、家族、地域の方、関係者等を構成とした「地域連携推進会議」を年1回程度開催をする。</p> <p>6)職員への資格取得（介護福祉士、実務者研修、初任者講習等）を積極的に進める。</p> <p>7)人材確保の深刻さを強く訴え、利用者・職員家族、近隣住民の方に協力を要請し、求人職員応募者を募っていく。</p> <p>8)ホームページ、SNSなどの充実。定期的な魅力的な内容更新。担当者の選任。</p>
--	--